

Q5 いつまでに実行していくの？

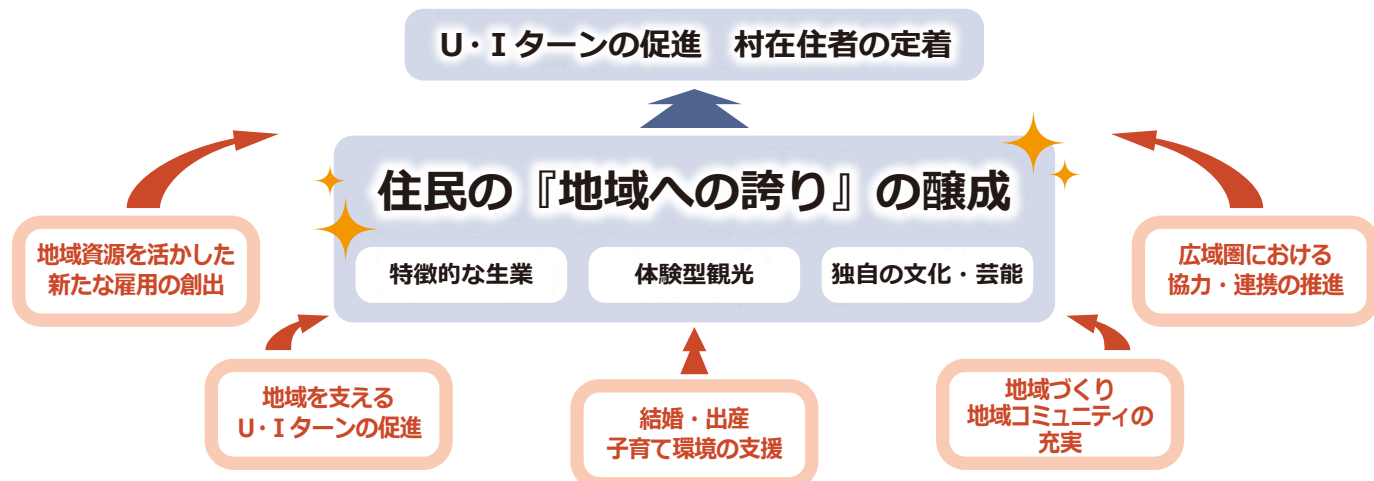
- A 国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と、岩手県の「岩手県ふるさと振興総合戦略」にあわせて、田野畑まち・ひと・しごと創生総合戦略は**平成 27 年度 (2015) から平成 31 年度 (2019) までの5年間**とします。
田野畑村人口ビジョンは**平成 27 年度 (2015) から平成 52 年度 (2040) まで**とします。

計画	H27	H28	H29	H30	H31	～	H52
まち・ひと・しごと創生総合戦略							
岩手県ふるさと振興総合戦略							
田野畑村まち・ひと・しごと創生総合戦略							
田野畑村人口ビジョン							

Q6 他の計画との関係は？

- A 田野畑村の「田野畑村総合計画（平成 23 ～ 32 年度）」を上位計画として、総合計画の方向性を踏まえた**人口減少対策の戦略**として位置づけられています。
このため、本年度策定中の「後期基本計画」との整合を図りながら、一体的に進めていきます。

U・I ターンの促進や村在住者の定着を促進させていくためには、田野畑村の魅力再発見・イメージアップを図り、住民自らが『地域への誇り』を醸成していくこと、そのための地域力向上に向けて5つの基本目標に即した事業を展開していくことが大切です。



平成 28 年 3 月



岩手県

田野畑村

〒028-8407 岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑 143-1
TEL 0194-34-2111 FAX 0194-34-2632

田野畑村

人口ビジョン&まち・ひと・しごと創生総合戦略

【概要版】

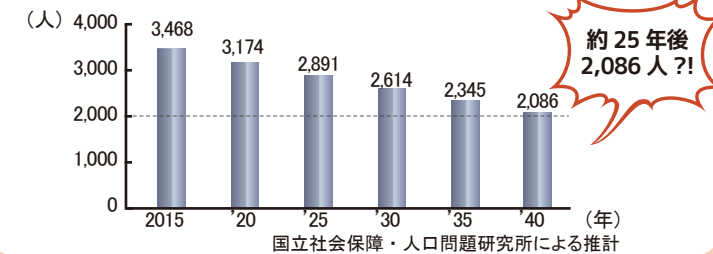
Q1 人口ビジョン&まち・ひと・しごと総合戦略って？

- A 国の定めた「まち・ひと・しごと創生法」に基づいて、村における人口減少の原因を明らかにした上で、そこからわかる**地域課題の解決策**と、**魅力あふれる田野畑を創るための事業計画**を示したものです。



Q2 今のままだと、村の人口はどうなっていくの？

- A 現状維持だと、10 年後には 3,000 人を割り、約 25 年後の**2,040 年には約 2,000 人**となる計算です。

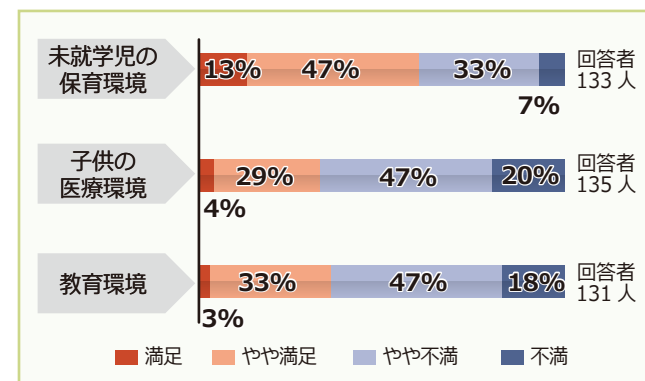


Q3 村の人たちは、村の「今」と、「将来」をどう考えているの？

- A 7 月から 8 月にかけて、村民、村出身者を対象に行ったアンケート調査やヒアリング調査の結果、主に以下のように考えていることがわかりました。

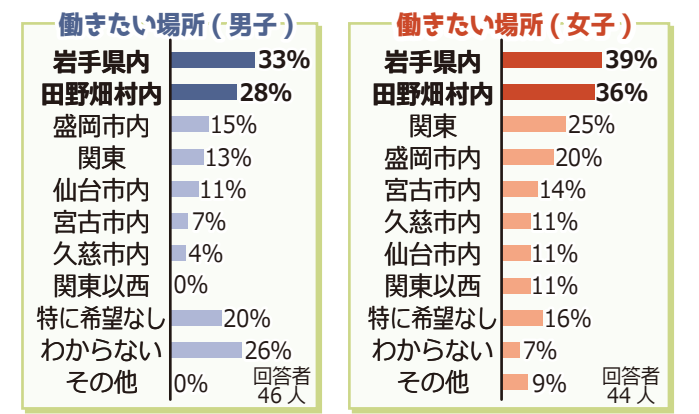
子育て環境の満足度

子供の保育環境については、「満足」と「やや満足」を合わせると 60% になり、比較的**満足度が高い**結果となりました。
子供の医療環境及び教育環境は、「満足」と「やや満足」を合わせても、それぞれ 4 割未満で、特に**夜間や緊急時に病院が遠い**等の課題があることが浮き上がってきました。



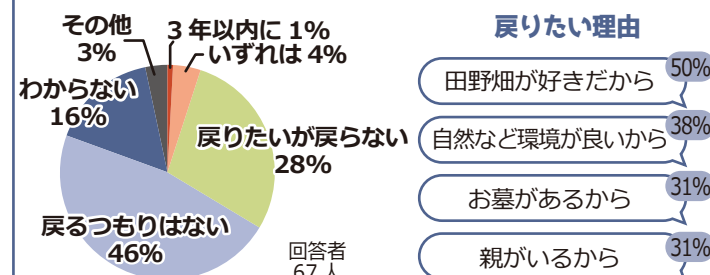
中学生の進路

将来働きたい場所は「**岩手県内**」、次いで「**田野畑村**」が多く、6 割前後が今後も「**住み続けたい**」と答え、**一度出て戻りたいか**という問いには、「そう思う」「ややそう思う」をあわせると 8 割を超える回答となりました。

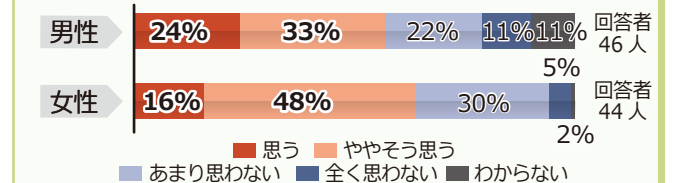


ふるさと回帰の可能性

村を出た出身者へ、村へ戻る意思があるかという問いに対しては、「3 年以内に戻りたい」「いずれ戻りたい」が 5%、「**戻りたいが戻らない**」が 28% となった。



将来も田野畑に住み続けたいか？



移住・定住の促進

自治会へのアンケート結果から、空いた教員住宅等を村営住宅として活用するなどのほか、**村と民間とで協力**して住宅を確保すれば、**潜在的に需要がある**と地域では感じられていることがわかりました。

Q4 人口減少を抑えるために、どんな取り組みを進めるの？

A これまで調査した人口減少の実態やアンケートの結果から、以下のように大きく5つの基本目標を設定して、それぞれに具体的な事業を設定し、それぞれの事業について具体的な目標指数を設定しました。これら目標達成のため、行政・民間企業・住民などが一体となって活動していくことで、魅力ある田野畑村を作っていきます。

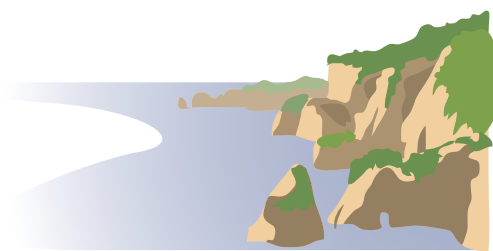
基本目標 主な施策

地域資源を活かした 新たな雇用の創出

- **一次産業後継者育成事業**
一次産業従事者（OB含む）が意欲ある者を対象に技術・ノウハウを継承する取り組みを支援する。
- **6次産業化モデル事業**
特定の地域（団体）をモデル的に集中支援し、支援ノウハウ・成果を他の地域（団体）へは急展開させる。
- **観光推進体制の強化**
観光情報の発信や、新たな観光商品の開発を推進する。観光客の入込数を増やし、観光業従事者の増を図る。
- **道の駅たのはたの機能強化（移転リニューアル等）**
- **第三セクターの経営強化**
村内の第三セクターの経営強化を図る（北日本銀行及び外部専門機関と連携）
- **企業誘致活動**
光ブロードバンド網の整備を受け、ICT企業等新たな分野を対象に誘致活動を行う。

地域を支える U・Iターンの促進

- **U・Iターン受け入れ環境の整備**
コーディネーターを配置し、空き家情報の収集や各地域の意向調査等を行う。
- **居住環境の向上**
空き家修繕費補助の強化を図る。
- **観光推進体制の強化（再掲）**
- **懐かし村民制度の充実強化**
制度のPRや提供商品を見直し、加入者の拡大を図る。
- **田野畑村の魅力情報発信の強化**
村への関心度を高めるため、村の観光・生業・伝統文化等、地域の魅力について戦略的に情報発信をおこなう。



結婚・出産・子育て環境の 支援

- **出産・子育て支援策の充実**
 - * 乳幼児から高校生の医療費無料
 - * 保育所・児童館の利用料無料（給食費除く）
 - * 妊婦健診無料化・不妊治療への助成
 - * 子育て世帯へのケア、サポート体制の強化
 - * 小中連携（一貫）教育の推進（授業へのICT導入、異文化交流の推進等）
 - * 教材費の一部助成（小中学校）
 - * 奨学金制度の拡充検討
- **若者交流イベント等の開催**
同世代で交流する機会を創出するため、イベントや異業種交流等を開催する。



地域づくり・地域コミュニティの 充実

- **地域づくり実践活動への支援**
 - * 村内6地区における主体的な地域づくり実践活動の展開及び情報発信
 - * 地域コミュニティと行政の連体制の再構築（地域協働隊職員制度の見直し等）
- **集落圏ネットワークの形成**
各集落を支える生活サービスや地域活動を繋ぐための拠点施設（役場、道の駅、多機能型店舗等）の配置・機能について検討するとともに、交通体系の充実を図る。



広域圏における 協力・連携の推進

- **広域連携の検討**
「医療」、「観光」、「雇用」、「交通」等、広域連携による相乗効果が見込まれる施策について、観光市町村と健闘する場を設ける。



評価指数

- 起業・創業者数 2社
- 新商品開発数 10件
- 体験観光者数 13,000人/年
- 道の駅たのはた利用者数 45,000人/年
- 村内企業新規雇用者数 75人

- U・Iターン者用住宅整備個数 20戸
- U・Iターン者数 200人
- 懐かし村民登録者件数 200件/年
- 村ホームページアクセス数 425,000回/年

- 保育所・児童館入所希望者充足率 100%
- 奨学金利用件数 3件/年
- 若者交流イベント等の参加者数 30人/回

- 地域づくり実践活動 10件/年
- 地域情報発信件数 6地区

- 広域連携事業数 3事業

将来目標

2040年人口目標：3,000人

- 合計特殊出生率を2.07以上の水準で維持
- 人口の1%(39人)移住を毎年促進
- 小学生126人、1学年平均20人以上
- 生産人口が老年人口より多い状態を維持

